



よさこい関係人口 ONLINE TALK

VOL.3 高知の仕事と休日 × よさこい 開催レポート

よさこい祭り発祥の地である高知市。

よさこいをきっかけにした移住「よさこい移住」をした人たちがお送りするオンラインイベント「よさこい関係人口 ONLINE TALK」を開催しました。

高知市の魅力は、よさこいだけじゃない！

今回のテーマは、高知の仕事と休日！

実際に、高知市へ移住してからどんな生活を送っているか気になりますよね。

経験談を踏まえた、為になるトークイベントの様子をレポートします！

よさこい関係人口 ONLINE TALK

VOL.3 高知の仕事と休日×よさこい

いよいよスタート！

コロナ禍における今年度の新たな試みとして、オンラインでのよさこい移住応援隊によるトークイベントの第3弾。

当日は、11名にご参加いただきました。

会場はよさこい移住応援隊の方が経営する高知市内のカフェ&バーをお借りして、カウンター越しに、お昼過ぎの落ち着いた時間帯に開催しました。

まずはトークいただいた皆さんをご紹介します。

～参加メンバーのご紹介～



山本 藍子さん
(石川県出身)



原田 哲也さん
(兵庫県出身)



沖倉 翔樹さん
(東京都出身)



谷 朱香さん
(愛媛県出身)

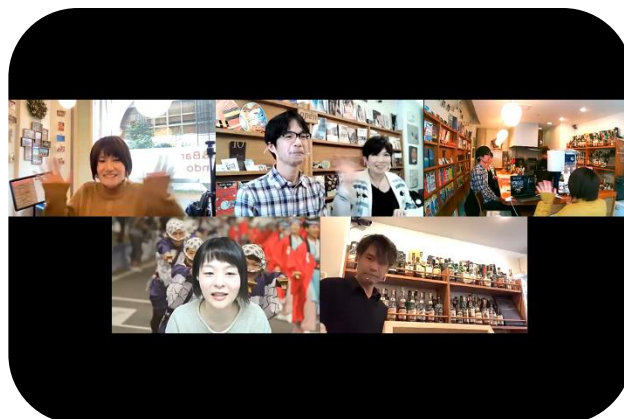
－ カフェでスイーツをいただきながら －

MC 本日、高知市の街中にあります「旅Café&Bar 0 Mundo（オムンド）」からお届けしております。こちらのお店の素敵な「メルティーバターサンド」というお菓子とお飲み物をいただきながら、トークをしていきたいと思います。

私は高知県出身で、2年前にUターンして、現在SHIFT PLUSという会社で働いています、小林といいです。本日は、司会進行を務めさせていただきます。

普段は、関係人口を作る仕事や就職支援などを行っています。よさこいは踊ったことはありませんが、高知へ帰ってきたので、ぜひ踊りたいと思っています！

よろしくお願いします。



それでは、本日のゲストの皆さんから自己紹介をお願いしたいと思います。

原田さん

「2017年に兵庫県から移住してきました。最近は四国電力グループで踊っています。」

山本さん

「石川県出身、2017年に愛知県から移住、5年間とらっくよさこいで踊って、観光イベントや豪華客船のお見送りなどで踊っています。高知市郊外で販売の仕事をしています。住んでいるのは高知市外なので、二段階移住したということになります。」

沖倉さん

「東京から高知へ移住しました。帯屋町でお店をやっています。チームはTACYONです。」

谷さん

「愛媛県出身で、2015年末に高知へ移住、最初は土佐清水市に移住してから高知市へ来ました。よさこいは、2007年から早稲田大学のチームで踊って、國土舞双というチームで踊っていました。2017年に踊ってからは出産のために踊っていませんが、将来、子どもたちが踊るのも楽しみです。今日は自宅から参加しています。」

MC まずは、チャットの練習もかねて、参加者の皆さんがどちらから参加してくれているか書き込んでいただけたらと思います。

「埼玉」「福井」「宮城」「京都」

いろんな所からご参加いただいていますね。オンラインだと、東京・大阪以外からも参加できていいですね。

－ フリップや〇×で分かりやすくご紹介 －

MC それでは、よさこい移住応援隊の皆さんにお話を聞いていきたいと思います。

フリップや〇×を使って、オンライン参加の皆さんにもわかりやすくお答えいただきます。

Q 高知で就職する・仕事を始めた決め手は何でしょうか？

山本さんフリップ

【移住促進課に相談、ハローワーク求人、転職エージェント、最終的に SNS で見つけました】

「8年前のことになるので、転職とかが活発じゃない時期だったんですが、移住相談窓口にも相談したけど、よさこいの時期に休むのは難しいと言われたことを覚えています。友達から SNS でこんな仕事があるよと教えてもらって、やっと就職が決まりました。よさこい情報交流館でよさこいコンシェルジュとして働いていました。」



原田さんフリップ

【夏が暇だと知っていた（自転車で探し回った）】（??）

「今の仕事は移住する前と業種は同じ、夏場は暇な時期ということはわかっていたので、練習やイベントに参加しやすいので、同じ業種で探していました。自転車で2か月間ほど、仕事を探して回っていました（笑）」

「でも結局、インターネットで仕事が見つかったので、自転車で仕事を探すのはあまりお勧めしないです（笑）。販売の仕事なんですが、夏は閑散期ということを知っていたので、よさこいを踊ることができています。」

その他の方のフリップは

【知人・友人に相談してみる】

【よさこいの練習・本祭に参加できるかどうか】
でした。

MC さて、次の質問です。

Q 仕事を探す・始めるときにこれだけは気を付けてほしいことはなんですか？

沖倉さんフリップ

【よさこい宣言は必要。しかし…】

「円満に踊れている人ばかりではないことも知っておいた方がいいと思います。」

谷さんフリップ

【サポートしてくれる制度を利用】

「私はフリーランスで仕事をしていまして（後ろでお子さんが陽気に歌ってる）、県の起業を応援する制度を見つけて、自分一



人で考え過ぎないで、相談できる所を探しました。よさこいの仲間にも仕事のことを全部相談できるわけではないので、好きなことをするためには自分で納得しながら、いろんな制度を利用することが大事だと思います。」

MC そうですね。けっこう、高知は相談窓口とか多くて、その点は整っていると思います。まずは相談してみるの、とても大事なことですな。

その他の方のフリップは

【勤務時間・給与】

【お金はかかる。あたたかいことばかりじゃない】

MC では3問目です。

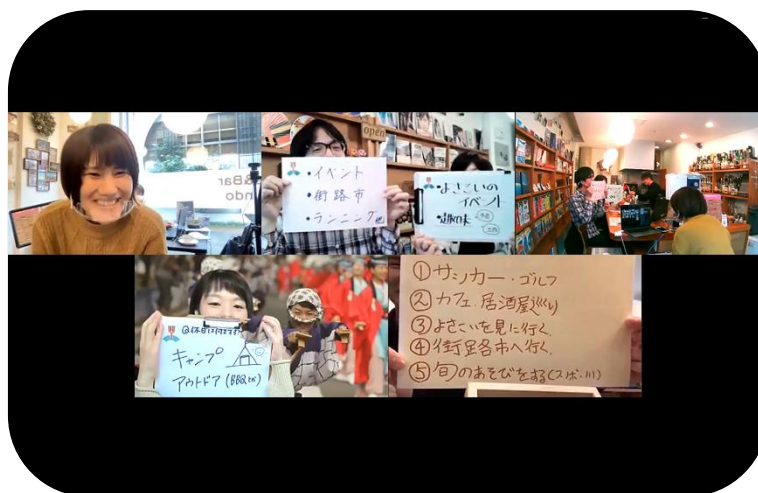
Q 休日はどこへ行く？何をする？

原田さんフリップ【イベント、街路市、ランニング他】

山本さんフリップ【よさこいイベント、趣味】

沖倉さんフリップ【①サッカー・ゴルフ、②カフェ・居酒屋巡り、③よさこいを見に行く、④街路市へ行く、⑤旬のあそびをする（スノボ・川）】

谷さんフリップ【キャンプ、アウトドア（BBQとか）】



MC 皆さん、いっぱい書いてくれていますね（笑）。どなたかアピールしたい人はいますか？

「いや～いつでも楽しいですよ。」

「確かに確かに。」

MC 街路市と書かれた方がお二人いるので聞いてみましょうか。

「街路市は面白いですね。日曜市は有名ですが、いろんな曜日に開催されていて、出店者さんと直に話をしたり、特産品もあったり。日常なんですけど、非日常みたいな体験ができますよ。」

MC チャットで龍馬マラソンはチャレンジする予定でしたよね？と来ていますが。

「龍馬マラソンは今年中止になったのですが、来年こそは走りたいと思います。」

MC よさこいのイベントについても聞いてみましょうか。

「今はコロナでよさこいのイベントも開催されていませんが、高知ではよく、よさこいが踊られるイベントが開催されます。自分が踊っていなくても、友だちが踊ったりしてるので、遊びに行っていました。今はイベントがなかなかできないので、過去形になってしまっていますが。よさこい祭りが終わった後に、大橋通り商店街では毎週のように踊ったりしていましたね。」

MC ではここからは応援隊の皆さんに〇×でお答えいただきたいと思います！

Q 移居前より生活は充実している？

MC いきなり、コアな質問ですけど、〇と答えた方が多いですね～。

谷さん【〇×】

「結婚して移住して、移住後に子どももできて。家族で高知を楽しんでおり、充実しています。よさこいはできていないので×も挙げたんですが、よさこいは踊るだけじゃなくて、見ることもできるので、いつか子どもと踊るとかも楽しみです。それとキャンプもすぐにできるので、アウトドア好きとしては、とても充実しています。子どもともコロナになってから結構、キャンプに行きますよ！」

沖倉さん【〇】

「東京でよさこいの話ができないので、高知に来てそれができるのはすごくいいですね。お店に来た人の踊りを見に行ったりとかもしています。」

Q 友だちはどちらかというとよさこい関係が多い？仕事関係が多い？

「よさこいの友だちは多いですね。そこから、つながりを広げてくれます。」

Q 正直なところ、仕事が忙しくてよさこいを踊る暇がない？

MC 〇×を挙げる人が多いようです。

沖倉さん【〇×】

「ほんとは△がいいんですが。よさこいの時は夜の店を閉めてお昼をやろうかな、とか思っています。もし、縮小してよさこいを開催するとなら、お店を開けようかな～とか悩んでいますね。」

原田さん【×】

「よさこいをするために、高知に来たということを、就職の面接のときに猛アピールしたので、よさこい以外の時に仕事を頑張っています。遠征とかも行けていますし、踊りに関しては充実してできていますね。2019年までは（笑）」

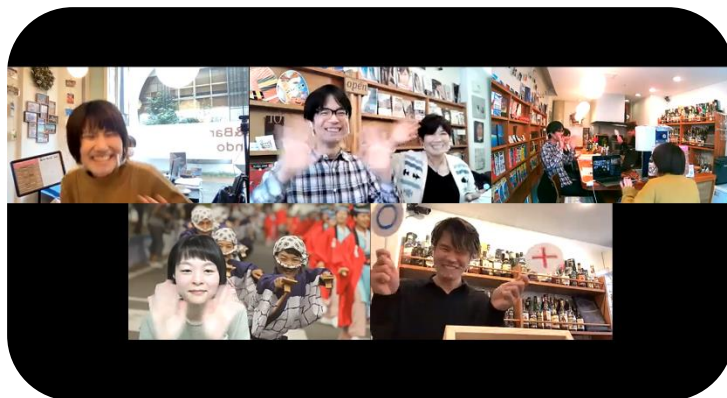
（チャット）よさこいって何？いわれることもある。

MC ソーランと間違われますよね。

（チャット）高知はよさこい以外に釣り仲間も多い。

「お店に魚を持ってきてくれる人もいますね。この前はイノシシを持ってきた人もいます（笑）」
「いいですね。新鮮ですしね。」
「高知は、海・川釣りが出来ますからね。」

MC まだまだお話をしたいところではありますが、いったん現場からは以上になります。



～高知市の暮らしについて紹介～

～高知市のお仕事について紹介～

～柳町の通りを紹介～

後半は交流会！

－ ズバリ聞いてみました！ －

MC 後半は、交流会ということで、参加者の皆さんの質問もお聞きしながら、お話していきたいと思っています。ぜひ聞いてみたいことがありましたら、チャットで質問してみてください。
まず、最初に先ほどの続きで、○×の質問について聞いてみたいと思います。

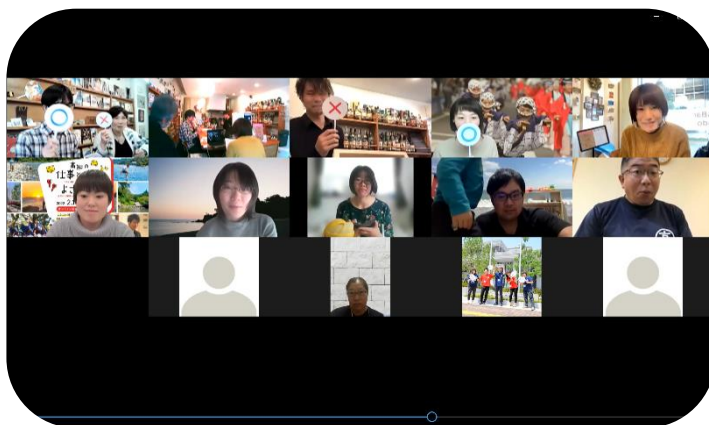
Q 生涯現役で踊り続けますか？

○と×が分かれていますね。

「よさこいをやっている限り、友だち関係とか続いていくのかな、と思うので○にしました。」

「踊れるところまでは踊りたいけど生涯かはわかりません。体力いるし。」

「子育てとどう両立するか。今は、自己実現のために踊っているけど、子どもが踊り



たいとなると、子どもを優先すると思うし、自分中心ではなくなるのかなと思っています。」

「チームもたくさんあるので、年齢で踊れるチームに変えていけばいいのでは。若いころは、動きが多いチームがいいけど、そのうちゆっくり踊れるチームに変えるとか。」

MC なるほど～、そういう考え方もあるんですね。

Q よさこいで踊れるのは、選抜ですか？

「基本的にはみんな踊れますよね。」

「チームによっては、練習に来れますか？とかは聞かれるけど。リズム感とかを見るために『今ここで踊ってみて』みたいなはありません！（笑）」

「飛び入り参加のチームもあります。」

Q 今年から高知に移住予定ですが、初心者向けのチームはありますか？

「自分が踊りたいチームがいいんじゃないですかね。曲がいいとか、着たい衣装とか。」

「踊っている人はみんな初心者だから大丈夫ですよ。」

Q よさこいを踊れなくなっても、高知で住み続けますか？

「よさこいをやってなくても、高知の人も好きだし、住み続けようかなと思っています！」

MC 高知出身者としては、とてもうれしいコメントをありがとうございます！

「海外に移住してみたいな、と思うこともありますが、よさこいを通じてお仕事をもらったりとかもできてるので、今は、高知に住み続けてもいいかなと思っています。」

「自分で選んで高知に来てるので、・・・う～ん、言葉が浮かんでこない（笑）」

MC 高知はよさこいだけじゃない、ということですかね。

「よさこいができなくなったら、見て楽しんだらいいと思っています。山とか川とかを一気に楽しめるところってあまりないと思うので、別の趣味ができて楽しみながら暮らしていけたらいいと思っています。」

— チャットが盛り上がってます！ —

（チャット）ハイレベルチームもあれば気軽なチームもあるので、選択肢が多い。

（チャット）自分は写真を撮る方なので、撮り続けたいですね。

「あまりよさこいのことで知られていないのが、衣装をもらって自分に合うように手直ししなきゃいけないこと。裁縫が苦手な人は困りますよね。」

（チャット）ミシンのスキルが上がった。

MC （よさこいが通常開催の場合）市役所踊り子隊では、移住者枠があるようですので、ぜひお申込みいただければと思います。

MC チームの募集情報はどこで仕入れるんでしょうか？

「ショッピングセンターの掲示板とか、SNS とかで調べるのがメインです。」

「人気のあるチームは、掲示板に出る前に埋まっちゃいますね。」

(チャット) 移住しようと思っているのですが、高知で働くとしたら、給料はどのくらいでしょうか？

MC 職種や年齢などによって異なりますが、30代で専門職の場合、年収350～400万円ほどでしょうか。家賃も5万円くらいが相場だと思います。転職のコツでもあるんですが、こういうことをしたいだけじゃなくて、こういうことができます！というのをアピールして就活していただくといいかなと思います。

MC チャットでは、衣装直しネタで盛り上がっています！

(チャット) 衣装は直前まで非公開なので、夜なべして縫っていました。

「おばあちゃんとかが近くにいと助かりますよね。」

「あと、安全ピンは絶対必須アイテムです。」

MC 衣装あるあるがすごいですね～。衣装・よさこいのこと以外でも結構です(笑)ので、チャットを入れていただければと思います。

MC 続いて応援隊の皆さんに、質問してみたいと思います。

Q よさこい関係の知り合いは100人ぐらいいますか？

「僕は人付き合いが下手なので、×ですかね。参加し初めのころに、周りのみんながすごい話をしているので、どうやったら知り合いが増えるのか逆に教えてほしい(笑)」

「たぶん〇を挙げている人は、移住する前からよさこいをしているんじゃないですかね。学生の頃からよさこいをしていたので、関係が続いていますね。全部合わせると100人ぐらいはいると思うんですが。」

「よさこいチームは、150人ほどいるので、横の列の人とかと仲良くなって、4年ぐらい続けると、知り合いがどんどん増えていくんじゃないですかね。」

「同じチームで踊っていますし、海外に住んでいた時にも踊っていたので、全部入れるとすごい数になりますね。」

「前後左右を入れると増えるし、打ち上げや遠征で仲良くなるとか。」

MC よさこいの後のひろめ市場は、貸し切り状態になりますよね。すごくあれはうらやましいですね。



Q 参加チームを変える理由は？

「条件面が大きいですね。練習量とか、練習場所とか抽選で決まるから大変ですね。」

「荷物が多いとかもあるかな、笠などの小物があると大変ですよ。」

「水分も必要ですよ。一回の練習で2リットルは必須！」

「次の演舞場へ移動するのに、バスがないとか。」

MC そろそろ終わりの時間が近づいてきました。皆さん、楽しんでいただけましたでしょうか？
それでは、応援隊の皆さんから一言ずつ感想をいただきたいと思います。

「今日はどうもありがとうございました。「よさこいあるある」がいっぱい出て楽しかったです。日々の暮らしの中によさこいがあるというのが高知のスタイルなのかなと思います。非日常を味わいに高知へ来たつもりが、日常の中によさこいが織り込まれていくのがよさこい移住だと思います。暮らしとか仕事とか、子どもの環境とかを考えながら、よさこい以外の部分で高知の楽しみ方を見つけていただけたら嬉しいです。」

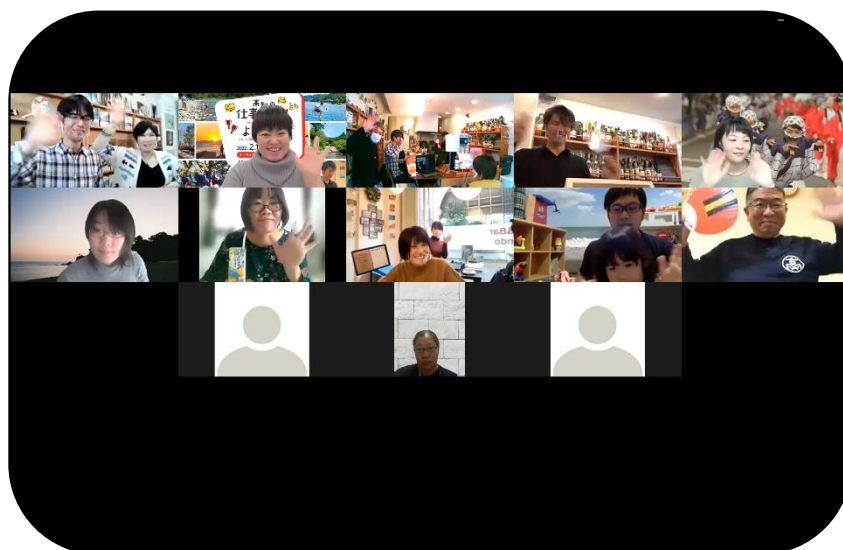
「分かりにくい部分もあったかもしれませんが、高知は良いところがいっぱいありますし、よさこいが通常どおり開催されれば一番いいと思いますが、高知にぜひお越しいただいて、満喫いただければと思います。」

「よさこい移住応援隊は、よさこいきっかけで移住した人たちですが、移住してから輪を広げるために、よさこいを始めるのもおススメです！」

「よさこいはあったら楽しめますし、なくても楽しめる街だと思いますので、お待ちしております！」

MC よさこいが開催されたら、絶対帰省します！というコメントもいただいています。
コロナが収束して、みんなでワイワイとよさこいができるのが楽しみです。

ご参加いただきました皆さん、どうもありがとうございました！！



— THE END —